

## 心理学演習（講師：野村 弘平 先生）の課題について

心理学の講義は四月中に二回予定されていましたが、これを授業の代わりにレポート課題とします。二週間分なので課題が二つです。教科書から課題を出しますが、本来なら授業をするはずのものなので、わからない専門用語などもあるでしょう。そういう部分は単に飛ばして、わかる部分について書いてもらえればよいです。

インターネットなどで調べた内容を書いてもらってもよいです。ただし非科学的な内容だと減点になります。（インターネットの情報はもともと信頼性が低いですが、心理学は特にインチキっぽい、オカルトっぽいページが少なくないので注意して下さい。）

■分量：二つの課題それぞれが、A4一枚片面に収まる程度。（ぎっしり詰めなくてもよい）

■提出方法：令和2年5月7日（木） 学校へ提出

■課題一週目分：教科書の「第三章 記憶」の中から、「感覚記憶」「短気記憶」「長期記憶」という言葉がそれぞれどういう意味かを簡単にまとめて下さい。

■課題二週目分：教科書170～178ページの「6.5 情動の機能」をざっと読んでから、「ストレスを受けやすい状況」「ストレスの対策には何が効果的か」について自分なりの考えをまとめて下さい。（この章は専門用語がずいぶん多いですが、あまり専門用語を使うことにこだわらず、自分の文章で書いてもらえればよいです。）